

<No20 : 写真測量>

次の1～5の文は、公共測量における無人航空機(以下「UAV」という。)を用いた測量について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の1～5の中から選べ。

1. UAVの使用に当たっては、UAVの運航に関わる法律、条例、規制などを遵守し、UAVを安全に運航することが求められる。
2. UAVにより撮影された空中写真を用いて三次元点群データを作成することができる。
3. UAV写真測量において、数値写真上で周辺地物との色調差が明瞭な構造物が測定できる場合は、その構造物を標定点及び対空標識として使うことができる。
4. UAV写真測量に用いるカメラは、性能等が当該測量に適用する作業規程に規定されている条件を満たしていれば、市販されているデジタルカメラでもよい。
5. UAVレーザ測量では、対地高度以外の計測諸元が同じ場合、対地高度が高くなると、計測点間隔は小さくなる。